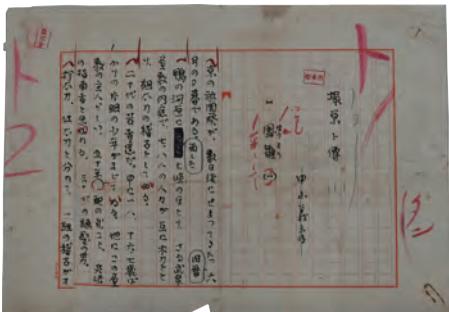


長沼城址「碑」文学碑前にて（1962年）
(写真提供 須賀川市歴史民俗資料館)



※中山義秀自筆原稿「塚原ト伝」



※中山義秀『碑』1939年7月
創元社(右)、函(左)

※は中山義秀記念文学館所蔵

なかやまぎしゅう
中山義秀（1900～1969 本名・議秀）は、福島県岩瀬郡大屋村（現・白河市大信）に生まれ、進学した早稲田大学で後に新感覚派の旗手となる横光利一と出会い、文学の道を志しました。しかし作品を発表しても取り上げられることは少なく、義秀は自身の個性を守りながら開花を待ちます。

多くの苦難に見舞われながらも、1938年に『厚物咲』で第7回芥川賞を受賞し、続いて発表した『碑』によって作家としての地位を固めた義秀は、次々に作品を発表していきます。戦後は歴史小説を手掛け、『新剣豪伝』『咲庵』などの代表作を遺しました。

本展では、時流に流されずに自らのテーマを追求し続け「孤高の文士」「最後の文士」と称された義秀の生涯と作品を展観し、いわきや草野心平との関わりについても紹介します。



※中山義秀『戦国史記』1957年11月
中央公論社(右)、函(左)



※第7回芥川賞正賞の懐中時計
展示期間 10月7日～11月12日



※羽織（裏地に手描きで模様が施されている）

会期中の催しのご案内

※開催内容等が変更になる場合があります。文学館公式サイトで最新情報をご確認ください。

スポット展示「吉野せい」 10月7日(土)～12月24日(日) 文学館常設展示室前 要観覧券

いわき出身の詩人・吉野せい（よしのせい 1899～1977）の生涯と作品を紹介します。

没後36回忌「心平忌」・第29回「心平を語る会」卓話「園芸ソムリエにさく草野心平とふるさとの植物」

11月12日(日) 14時～15時 草野心平生家・常慶寺（心平墓所）

「植物も動物」と表現した心平が愛した生家の庭の草木を、園芸ソムリエが解説します。

講師：芦澤久美子氏（園芸ソムリエ） 墓参（13時～13時30分）は参加自由。

定員30名（先着順） 要電話申し込み 10月11日(火)9時より受付

「ガリ版ワークショップ」12月2日(土) 13時30分～15時 文学館小講堂

謄写版（ガリ版）でクリスマスカードや年賀状を作ります。 参加無料

定員15名（先着順） 要電話申し込み 11月7日(火)9時より受付

クリスマスえほんコンサート 12月17日(日) 14時～15時 文学館小講堂

いわき絵本と朗読の会ほか 鑑賞無料 定員70名

協力 文学館ボランティアの会 要電話申し込み 11月28日(火)9時より受付

朗読サロン 10月7日(土)、11月11日(土)、12月9日(土) いずれも 11時～12時

楽しみながら朗読を学びます。お気軽にご参加下さい。 文学館小講堂 参加無料

文学館ボランティアの会事業

文学館X



文学館えほんのひろば

アトリウムロビーのえほんのひろばは、どなたでも無料でご利用いただけます。豊かな自然の中で、ぜひお楽しみください。

